

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

「向日市史」が完結

史料編を発刊

市では、昭和53年から「向日市史」の編さんに取り組んできましたが、このほど史料編が完成しました。

「向日市史」は、これで上巻・下巻・史料編の全三巻となり、福祉・文化・教育の香り高いまちづくりを目指す向日市にふさわしい史料であると確信しています。

まちの歴史的な発展を解明



市史編さん事業は、昭和53年度、民秋市長をはじめとする6人で構成する「向日市史編さん委員会」を設置し、編さんの基本的な方針を取り決めました。これにもとづいて、上田正昭(京都大学教授)委員長をはじめ11人の委員からなる「向日市史専門委員会」を設け、昭和58年3月には「長岡京を中心とした向日市史上巻」を、昭和60年2月には、織田信長登場から現代までを扱った「向日市史下巻」を発刊してきました。

▼向日市史編さん委員(敬称略・順不同)
民秋徳夫(市長)、上田正昭(京都大学教授)、熱田公(神戸大学教授)、熱田修(大阪大学教授)、中山仙三(前市長)、植田實(市議会議長)
▼向日市史専門委員(敬称略・順不同)
熱田公(神戸大学教授)、池田敬正(京都府立大学教授)、上田正昭(京都大学教授)、浮田典良(関西学院大学教授)、佐々木高明(国立民族学博物館教授)、高橋美久二(京都府立山城郷土資料館)、都出比呂志(大阪大学教授)、中山修一(京都文教短期大学名誉教授)、宮城公子(甲南大学助教授)、山本四郎(神戸女子大学教授)、脇田修(大阪大学教授)

今回発刊した「向日市史史料編」は、A5判982ページ、布クロス装製本、ケース付き、口絵モノクロ8ページと別添の付図7点(12枚)で市史の上・下巻を編さんする過程で、神社や旧家などに所蔵されていた史料を調査し、近世、近現代と大きく4項目に分け、それぞれ年月日順に編年史料として編集し、

近代の項目では、向日神社を中心に集め、近世の向日神社と周辺地域の人々の生活や信仰を伝えるものを掲載しています。また、近現代の項目では、明治以降の向日市の歩みを行政文書、新聞史料を使って明らかにしています。さらに、別添の地図資料では、明治6年に作成された地図2点と、江戸時代後半に作成されたと推定される地図1点については、現在では消滅した地名を知ることができ、また長岡京復元の手がかりになった小字名もみられる、たいへん貴重な史料を添付しています。



民秋市長

私たちのまち向日市は太古の昔から生活が営まれ、千二百年余り前には長岡京造営の王城の地であったことが明らかになっています。

市域に点在する古墳や遺跡、出土品、さらに神社や民家に所蔵されている古文書などは、貴重な文化遺産です。私たちは、こうした先人が遺してくれた文化遺産を、後世に正しく伝えることと向日市の姿を明らかにすることを、市史編さん

に当たっては、歴史の各分野に権威のある諸先生をお迎えし調査研究、執筆をお願いしたところであり、市民のみならず、市民のみなさんからは、貴重な史料をご提供いただきました。

向日市史は、向日市の歴史のあけぼのから、近現代に至るまでの移り変わりを、史料にもとづいて説明したものです。市史上・下巻とともに史料編もあわせて、ご利用いただきたいと存じます。

市民の皆さんには、ふるさと向日市に、改めて愛着と誇りを持っていただけるものと確信しております。

最後にになりましたが、向日市史の編さんにあたり、編さん委員、専門委員、執筆委員の諸先生はもとより、史料の調査や収集にご協力いただきました市民の皆さんならびに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

向日市史の完結にあたって

五十八年、下巻、六十年におかげをもちまして、全巻立派に完成いたしました。次に発刊、このたび引き続き史料編一巻を発刊いたしました。これを機に、向日市史は、全三巻が完結する運びとなりましたが、市史編さん

に当たっては、歴史の各分野に権威のある諸先生をお迎えし調査研究、執筆をお願いしたところであり、市民のみならず、市民のみなさんからは、貴重な史料をご提供いただきました。

向日市史は、向日市の歴史のあけぼのから、近現代に至るまでの移り変わりを、史料にもとづいて説明したものです。市史上・下巻とともに史料編もあわせて、ご利用いただきたいと存じます。

市民の皆さんには、ふるさと向日市に、改めて愛着と誇りを持っていただけるものと確信しております。

最後にになりましたが、向日市史の編さんにあたり、編さん委員、専門委員、執筆委員の諸先生はもとより、史料の調査や収集にご協力いただきました市民の皆さんならびに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。



所司代前田玄以定書 長徳幸家蔵
—「向日前新町」の町名がみえる—

市役所会計課・文化資料館で 一部五千五百円で頒布中

『向日市史史料編』は、2300部を印刷し、現在市民のみならず、5500部で頒布しています。購入希望の方は、市役所1階の会計課窓口又は、文化資料館で代金と引き換えにお渡しします。また、郵便振替(京都7-25973 京都府向日市)でお申し込みください。

は3600円(送料400円)、『向日市史下巻』は3800円(送料400円)で頒布しています。お問い合わせは向日市文化資料館 電話933-11182

テレホンサービス
行政情報 ☎933-0110
くらしの情報 ☎933-1001

お出かけ前には 必ず火の元点検を

留守宅火災予防運動 4月29日～5月5日

向日市消防本部・消防団

石油ストーブをかたづけする前に 次の事柄に注意しましょう

- ①給油タンク内の油を全部抜き取りましょう。
- ②しんは、から焼きして油分を残さないようにしましょう。
- ③点火用の乾電池は、かならず外しましょう。

